

B | 苔質 (たいしつ)

苔質については、苔の厚さ・湿潤度・粘稠性・分布・剥落の有無・消長・真假などを区別する必要がある。

1. 薄厚 (はくこう)

苔質の厚さは、苔を透して舌体が見える「見底」と、舌体がまったく見えない「不見底」を基準とする。

不見底の舌苔を「厚苔」、ほんやりとでも見底できる舌苔を「薄苔」という。

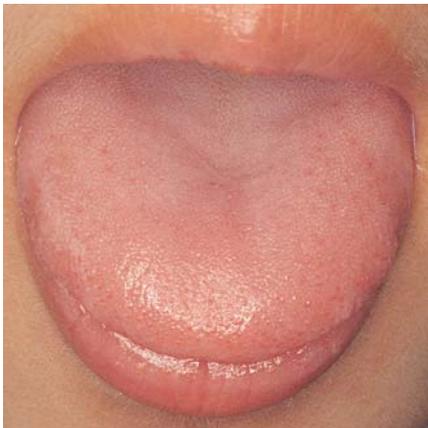
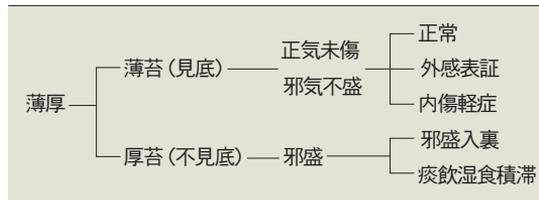
舌苔の厚さによって病邪の深淺を推測することができる。

1) 薄苔 (はくたい)

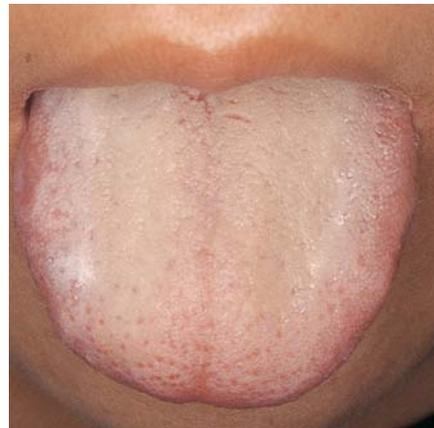
薄苔は、元来は胃気の上蒸によって発生する正常の舌苔であるから、病変時にみられる場合には、病変が軽度で邪の勢いも強くなく、正気にも損傷がないことを示す。それゆえ、外感病の表証あるいは内傷病の軽症をあらわす。写真⁷⁴

2) 厚苔 (こうたい)

厚苔は、胃気が湿濁や邪気を挟雑して燻蒸するために発生するもので、邪盛をあらわす。外感病では邪盛入裏を、内傷病では痰・飲・湿の停留や食滯を示す。写真⁷⁵



⁷⁴ 薄苔 (見底)
苔は正常



⁷⁵ 厚苔 (不見底)
寒湿・痰飲湿食積滯